

第4回 重信川流域合同水防工法訓練の開催について

重信川は、3市2町にまたがる想定氾濫区域内の人口24万を有する1級河川です。これまでの整備により堤防整備率は高まってきているものの、急流河川という特性から局所的な深掘による護岸崩壊等の危険性が高い河川です。

洪水発生時には従来から各市町で水防活動が行われておりますが、近年の我が国の災害発生傾向から水防活動がますます重要になるとともに、地域間の連携協力が必要となってきました。

このことから、重信川流域内の国、県、市町、自主防災組織等との連携協力の一層の強化、水防技術の向上を目的に、第4回目の合同水防工法訓練を下記の通り開催します。

記

1. 開催日 平成24年5月27日(日) 9時～11時
2. 開催場所 松山市井門町地先(重信川右岸8k／0付近河川敷)
3. 主催者 重信川・石手川水防等連絡会

平成24年5月18日

〈問い合わせ先〉

(重信川・石手川水防等連絡会 事務局)

国土交通省 松山河川国道事務所

TEL 089-972-0034

副 所 長 関谷 浩二 (内線 204)
◎工務第一課長 平木 茂 (内線 311)

第4回 重信川流域合同水防工法訓練 実施概要

1. 目的

重信川は、3市2町にまたがり想定氾濫区域内人口24万人を有する一級河川であり、地域において極めて重要な河川である。国による河川改修は、昭和20年に着手し、現在の堤防整備率は約99%の進捗率である。しかしながら、霞堤が9箇所存在し、内5箇所では住家浸水の可能性があるとともに、急流河川という特性から局所的な深掘れによる護岸崩壊が頻発している。また、堤防漏水の危険性が高い。各市町においては従来から水防活動が行われてきているが、最近の我国の災害発生傾向からも益々重要になっている。

そこで、国・県・市町間の連携協力、水防技術の向上を目的に、国、県、市町、水防団、自主防災組織等による3市2町合同の水防工法訓練を行うものである。

2. 開催

3市2町（松山市・伊予市・東温市・松前町・砥部町）、愛媛県、国土交通省松山河川国道事務所が連携して毎年出水期前に行うものとする。

3. 開催場所

開催場所については、重信川本川高水敷・堤防を使用し、沿川の4市町持ち回りとする。

（第1回）平成20年度：	松前町	H. 20. 5. 18（日）
（第2回）平成21年度：	東温市	H. 21. 5. 31（日）
	平成22年度：	重信川水防演習 H. 22. 5. 23（日）
（第3回）平成23年度：	砥部町	H. 23. 5. 22（日）
（第4回）平成24年度：	松山市	H. 24. 5. 27（日）

4. 主催

重信川・石手川水防等連絡会（国・県・市町・愛媛県警察本部、所轄警察署・消防局等、関係機関で構成）

5. 事務局

開催地市町（松山市）、松山河川国道事務所

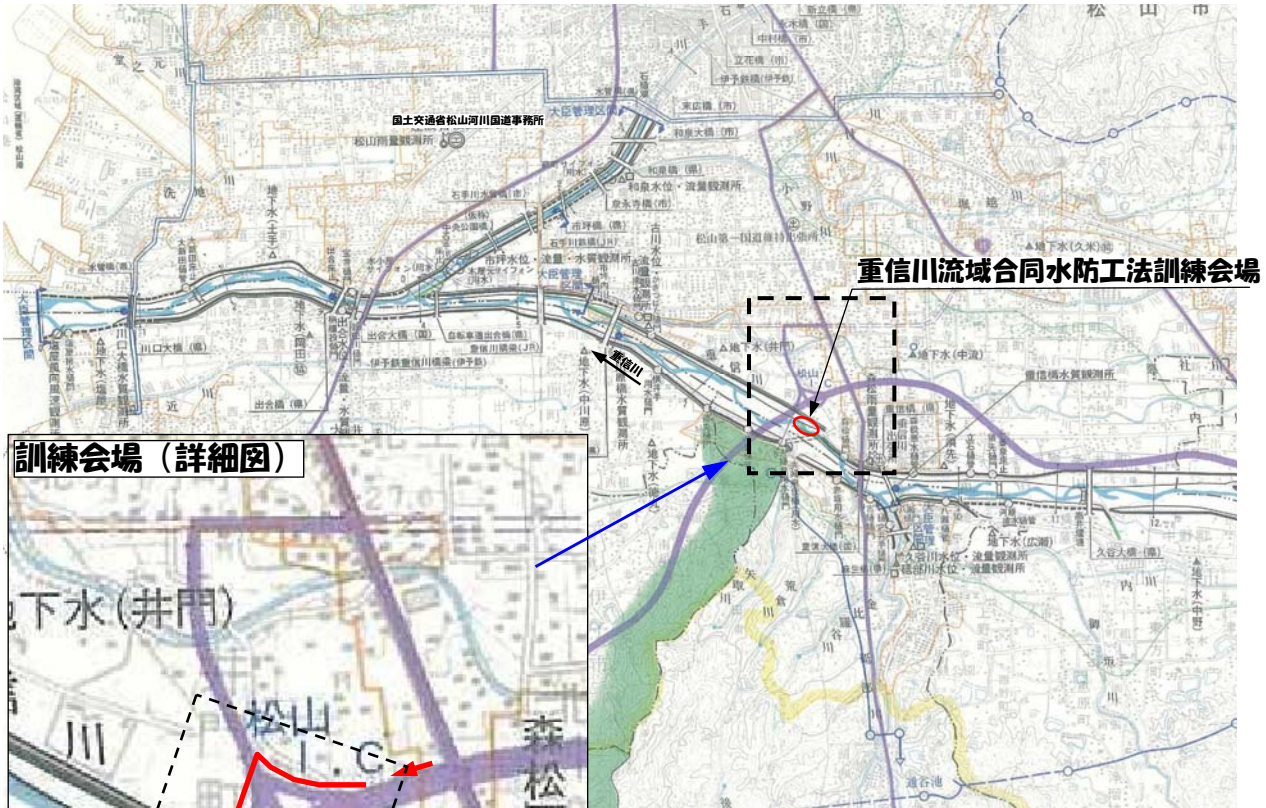
6. 平成24年度の実施概要

- 1) 実施日時 5月27日（日）9:00～11:00
- 2) 実施場所 重信川右岸 8k/O付近 河川敷（松山市井門町地先）
- 3) 参加対象者 総勢500名程度
 - ・開催地消防団（松山市）
 - ・流域消防団（他4市町）
 - ・自主防災組織（開催地ほか）
 - ・愛媛大学防災情報研究センター
 - ・愛媛県中予地方局、愛媛県河川課
 - ・国土交通省松山河川国道事務所
 - ・国土交通省四国山地砂防事務所
 - ・愛媛県警察本部、所轄警察署
 - ・防災エキスパート
- 4) 訓練内容
 - 準備工
 - ・ロープワーク
 - ・土のう作り
 - 洗掘対策
 - ・木流し工法
 - ・シート張り工法
 - 漏水対策
 - ・月ノ輪工法
 - 越水対策
 - ・改良積土のう工法
 - ・改良積土のう工法（Ⅱ型 都市型）
- 5) その他
雨天決行します。
（大雨洪水警報発令、台風接近等で災害発生の恐れがある場合には中止）

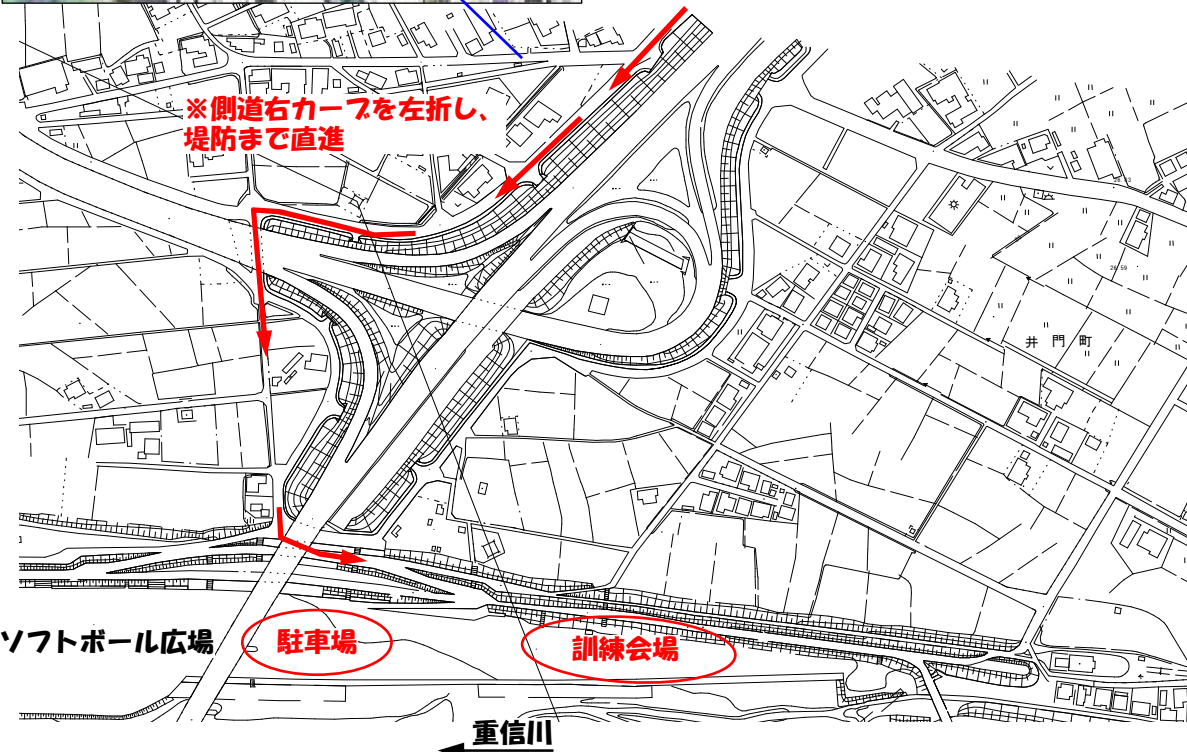
「 第4回重信川流域合同水防工法訓練 会場案内 」

◇重信川流域合同水防工法訓練

1. 実施日時：5月27日（日） 9:00～11:00
2. 実施場所：重信川右岸 8k/0付近 河川敷（松山市井門地先）



※国道33号から側道へ曲がった所から直進方向



ソフトボール広場

駐車場

訓練会場

重信川

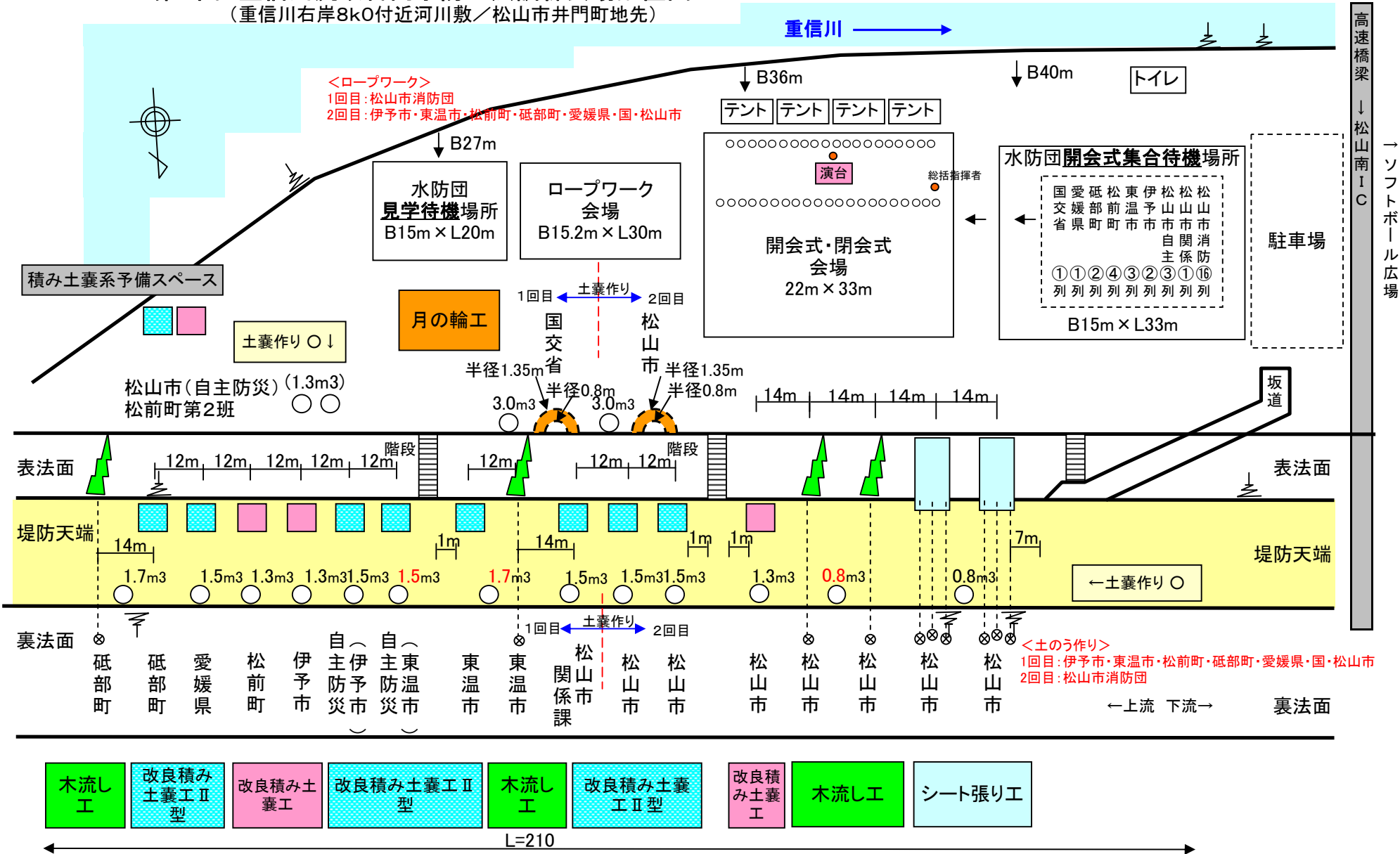
訓練次第

◇日時:平成24年5月27日(日) 9時00分～11時00分
◇場所:重信川右岸8k/0付近河川敷 (松山市井門町地先)

		◇司会者:松山市職員	
1	開会	9:00～	◇訓練総括指揮者:松山市消防団長
	(1) 挨拶		集合指示
	松山市長		◇開催地市町長
	国土交通省四国地方整備局		◇本局
	河川部長		
	(2) 参加機関代表者および		◇司会者:紹介
	水防工法指導講師 紹介		
2	工法訓練実施		
	(1) 準備工	9:10～	◇訓練総括指揮者:松山市消防団長
	・ロープワーク		各工法の着手、終了指示
	・土のう作り		◇工法指導は各班長
	(2) 法崩れ対策工	10:00～	エキスパート、国交省は工法の
	・シート張り工		作業確認
	・木流し工		
	(3) 漏水対策工	10:00～	
	・月の輪工		
	(4) 越水対策工	10:27～	
	・改良積み土のう工		
	・改良積み土のう工(Ⅱ型)		
3	閉会	10:52～	◇訓練総括指揮者:松山市消防団長
	(1) 講評		集合指示
	国土交通省 四国地方整備局		◇次期開催地市町長
	松山河川国道事務所長		
	(2) 閉会挨拶		◇訓練総括指揮者:松山市消防団長
	松前町長		解散、片付け指示

第4回 重信川流域合同水防工法訓練会場配置図

(重信川右岸8k0付近河川敷／松山市井門町地先)



(参 考) 第3回 重信川流域合同水防工法訓練の開催状況です。 (平成23年5月22日)

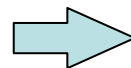
■目的： 市町・国・県、自主防災等の連携協力、水防技術の向上

■参加機関：流域3市2町(松山市、伊予市、東温市、松前町、砥部町)、国、県、自主防災組織等 約500名参加
主催は『重信川・石手川水防等連絡会』。H23年度は砥部町が事務局として訓練運営

■場所：重信川左岸7k/6付近河川敷(砥部町八倉地先)

■訓練開催による効果：

- | | | |
|--------------|---|--------------|
| ・事前訓練 | → | ・水防技術習得意欲の向上 |
| ・合同訓練開催 | → | ・地域間の連携 |
| ・首長との意見交換 | → | ・防災意識の共有化 |
| ・市町との頻繁な事務調整 | → | ・情報交換ラインの確立 |



**防災意識、水防技術の向上による
危機管理の充実**

開会式



準備工(土のう作り)



対策工(木流し工)



* 当日は木に代えて竹を使用

対策工(シート張り工)



防災エキスパートによる指導



対策工(月輪工)



対策工(改良積み土のう工)



河川部長による視察

